

2018年12月13日
第113号

全労連



全労連
憲法・平和グループ

憲法 平和闘争ニュース

12月10日に臨時国会が閉会しましたが、悪法が次々と十分な審議もされずに強行されましたが、改憲議論は進めさせませんでした。14日には、辺野古への土砂投入が強行されようとしています。「平和を守りたい」という国民の声を無視し、憲法遵守義務をないがしろにし、改憲に執念を燃やす安倍政権を追い詰めるため引き続きたたかっていきましょう。単産・地方の取り組みを紹介します。

●道労連女性部

猛吹雪の中、赤紙配り、平和のリレートーク

二度と戦争をしないのが政治家の責任

77年前の12月8日は、日本が真珠湾攻撃をして太平洋戦争に突入した日です。2000万人を超すアジアの人々と、310万人以上の日本国民が犠牲になりました。「自衛隊の海外派へ反対！憲法の平和原則を守る女性連絡会」は12月7日、赤いマフラーや手袋を身につけ、新婦人の会員さん手作りの防災ずきんを被り、猛吹雪の中、赤紙を配りながら、平和のリレートークを行いました。

道労連女性部を代表して福祉保育労の岡秀子書記長は、「私たち福祉保育労のスローガンは『平和こそ最大の福祉』です。今、軍事費は5.3兆円と過去最高に達する一方、子どもの貧困、介護難民、医師・看護師・介護士不足、保育士不足と保育所の待機児童、生活保護費の削減など、社会保障の改悪が続いています。憲法25条に反して生きづらさ、働きづらさを抱える国民がこんなにいる今こそ、軍事費ではなく必要な社会保障に十分予算を投入するべきです。昨年12月7日、宜野湾市の保育園の屋根に米軍部品が落下する事故がありました。今も米軍機は園の上を飛び続けています。ある母親は、『米軍機の音がすると子どもが、また何か落ちてくるのではと機体が見えなくなるまで見届けるようになった。最近1歳半の末っ子は寝ている時に音がしても起きなくなった。こうやって騒音に慣れていくんだなと感じる』と、米軍機の騒音や落下物に怯えながら子どもを育てている沖縄の人たちのことを考えると本当に辛くなります。安倍首相は『政治家の責任で憲法を変える』と言いますが、国民が危険な状況にある時に、国民を危険から回避するための努力、二度と戦争をしないのが政治家の責任ではないでしょうか。憲法改悪反対、戦争させないために、連帯してともにがんばりましょう」と訴えました。



北海道母親連絡会の笹島満恵会長は、「安倍首相は、自衛隊が地球の何処ででも外国の軍隊とともに戦争できるように憲法9条に自衛隊を明記しようと、戦争する国に突き進むことに異常なまでの執念を燃やし改憲発言を繰り返しています。今の国会はどう見てもおかしいことだらけです。国民をないがしろにしています。国民軽視を許さない！徹底審議しなさい！と国民の怒りの行動が広がり野党の共闘で、自民党の改憲4項目の今国会提示を断念させました。みなさん、黙ってはいけません！一緒に声をあげましょう！」と呼びかけました。

猛吹雪の中、道行く人は赤紙を受け取り、急いで駅に向かっていきました。初めて被った防災ずきんは猛吹雪からの寒さは防いでくれましたが、戦争から命を守ってはくれないとつくづく実感した宣伝行動になりました。

全国各地で取り組み

全国の女性部などで、こうした取り組みが行われています。母親大会連絡会は「武器はいらない 核もいらない 12・8 平和を守る母親全国連鎖行動」を各地で行いました。東京では、日本母親大会連絡会と東京母親連絡会が有楽町マリオン前と御茶ノ水駅前で行った。安倍政権が「戦争する国」にしようとしていることを批判し、3000 万人署名やヒバクシャ国際署名への協力を呼びかけました。

有楽町マリオン前でマイクを握った全労連の長尾ゆり副議長は、「国民は改憲より憲法を生かして安心して暮らせる政治を望んでいる。憲法 9 条を変えてはいけない。子どもたちに戦争しない国を手渡せるように力をあわせよう」と訴えました。

●全教・京教組女性部

被爆者援護連帯のための募金旬間

バザーやクリスマス平和パーティーを実施

11 月 20 日から、日本原水協が提起している被爆者援護連帯のための募金旬間が始まり、全国各地でさまざまなとりくみが行われ、全教の各組織でも、募金活動をはじめ、被爆者援護連帯の取り組みが行われています。

京教組女性部では、毎年「被爆者救援バザー」を行い、組合員や賛同者から無償で提供してもらった物品を売った収益を、全額被爆者へお見舞い金として届けています。今年は 11 月 23 日に開催され、清水寺の参道で毎月とりくまれている「6.9 行動」で集まったカンパとあわせて、12 月 23 日の「被爆者をはげますクリスマス平和パーティー」で、被爆者のみなさんに贈られます。

昨年の「クリスマス平和パーティー」には、100 人を超える被爆者とその家族の方々を招待し、総勢 200 人をこえる参加者で心温まるつどいとなったそうです。



本日!!

辺野古の海への土砂投入強行を許さない！ 12・13防衛省抗議行動

単産・首都圏地方組織のみなさん、ご参加ください!!

- 日時 12月13日(木) 18時半開始
- 場所 防衛省正門前
- 内容 政党からのあいさつ
アピール

- 共催
総がかり行動実行委員会
「止めよう！辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会

★当面の行動★

- 12月19日(水) 18時30分～ 国会議員会館前
総がかり行動 「19日行動」